

教育研究評議会議事録

平成25年4月10日（水）
15時30分から16時43分まで
事務局第1会議室

議事

I 教育研究評議会議事録（3月13日開催）の確認

II 報告事項

- 1 バーチャル研究所の認定について
- 2 国立大学法人山形大学における会議費支出基準について
- 3 平成25年度入学試験実施状況調について
- 4 山形大学学生表彰及びYU Do Best 奨学金等について
- 5 山形大学新規採用教員メンター制度実施要領について
- 6 学生不祥事防止検討プロジェクトチームからの中間報告について

III その他

出席者

| | | | | | |
|-----|------|----------|------------|------|------|
| 議長 | 結城章夫 | (学 長) | | | |
| 理事 | 小山清人 | 深尾 彰 | 安田弘法 | 北野通世 | 柴崎 孝 |
| 評議員 | 北川忠明 | 阿部宏慈 | (人文学部) | | |
| | 那須稔雄 | 須賀一好 | (地域教育文化学部) | | |
| | 玉手英利 | 鶴浦 啓 | (理学部) | | |
| | 山下英俊 | 細矢貴亮 | (医学部) | | |
| | 飯塚 博 | 高橋辰宏 | (工学部) | | |
| | 西澤 隆 | 夏賀元康 | (農学部) | | |
| | 久保田功 | (附属病院長) | | | |
| | 渡邊洋一 | (基盤教育院長) | | | |
| 監 事 | 斎藤亮一 | 三浦正昭 | | | |

列席者 総務部長 企画部長 施設部長 EM部長 小白川キャンパス事務部長
医学部事務部長 工学部事務部長 医学部事務部副部長
総務課長 小白川キャンパス事務部総務課長 小白川キャンパス事務部教務課長
人文学部事務長 地域教育文化学部事務長 理学部事務長
農学部事務長 監査室長

議事に先立ち、結城学長から、4月1日付で就任した玉手理学部長、鶴浦評議員（理学部）、及び夏賀評議員（農学部）の紹介があった。

I 教育研究評議会議事録（3月13日開催）の確認

平成25年3月13日(水)開催の教育研究評議会議事録が確認された。

II 報告事項

1 バーチャル研究所の認定について

深尾理事から、本件については、平成25年3月で期限が切れる1研究所の研究期間更新の申請があり、YU-COE推進本部にて承認された旨、資料1に基づき報告があった。

2 国立大学法人山形大学における会議費支出基準について

柴崎理事から、本件については、会議費の適正な取扱いを図るため、会議等において支出する飲食物を提供する費用について必要な事項を定めた旨、資料2に基づき報告があった。

なお、支出の範囲や財源については、部局長が支出伺の際に判断してもらうこととしており、この内容については、半期ごとに役員会へ報告するとともに、情報公開の対象となることから、部局長の責任において外部に説明できるよう対応願いたい旨述べられた。

3 平成25年度入学試験実施状況調について

北野理事から、平成25年度の入学試験実施状況について、資料3に基づき報告があった。

次いで結城学長から、大学院の定員については、定員割れが無いよう努力願いたい旨述べられた。

4 山形大学学生表彰及びYU Do Best 奨学金等について

小山理事から、山形大学学生表彰、山形大学奨励表彰の受賞者及び山形大学・元気プロジェクトの優秀者並びに山形大学YU Do Best奨学金の奨学生について、資料4に基づき報告があった。

5 山形大学新規採用教員メンター制度実施要領について

小山理事から、各学部で持ち帰り検討いただいた新規採用教員支援制度について、学部からの意見等の説明があり、これらを踏まえて資料5のとおり修正を加えた旨報告があった。

6 学生不祥事防止検討プロジェクトチームからの中間報告について

小山理事から、学生不祥事防止検討プロジェクトチームからの中間報告について、資料6に基づき報告があった。

IV その他

1 役員会における教授採用人事について

那須地域教育文化学部長から、新聞報道のあった役員会決定の教授採用人事に関し、以下の2点について質問があった。

また、今回の人事について再考のうえ、文部科学省との交流人事を解消し早期に文部科学省へ復帰させるよう要望が出された。

・大学教育職員の選考は、公募を原則とし、学部での選考については業績及び経歴等を審査した上で、教授会で審議決定することとしているが、役員会の採用決定までの選考プロセス及び関係委員会の開催・回数について教えていただきたい。

・山形大学教員選考規程第2条に、大学教育職員の選考は、「人格及び識見ともに優れた者について」と規定されているが、今回採用の教授はこの規定に当てはまるものなのか。また、役員会としてこの規定に基づきどのような審査を行ったのか。公募すれば良かったのではないか。当人を採用しなければいけない理由があったのか。

これに対し、結城学長から、教授採用までの経過について説明の後、本人は処分を受けてはいるが、懲戒ではなく指導上の措置として区切りがついており、終わった問題と判断したこと、また、経歴及び知識等について提出された資料により、重粒子線がん治療装置設置プロジェクトに関して豊富な知見・経験を有しており有益と判断したものであり、役員会へ提案し了承されたものである旨説明があった。なお、原則は公募となっているが、求めている人材を採用するため公募はしなかったものであり、役員による審議を重ねて決定した旨説明があった。

また、現役出向なので、これからの仕事ぶりや本プロジェクトの進捗状況を見て文部科学省へ返す時期を決めたい旨が述べられた。

関連して、北川人文学部長から、役員会所掌の人事について、決定前に部局に相談する仕組みをとれないかとの意見があった。

次いで結城学長から、役員会決定の事前相談について検討する旨述べられた。

2 重粒子線プロジェクトの展望について

玉手理学部長から、群馬大学の実績等について紹介されていることから、本学が実施した場合の具体的なシミュレーションを公の場で公表していただきたい旨が述べられた。

次いで山下医学部長から、群馬大学との違いとして、本学では10年前から東北地区においてがんに関するネットワークを構築しており、その中の一つの選択肢が重粒子線がん治療であること、また、ネットワークの調査により千人程度の患者を想定し、導入する機器の選定を含めて具体的なシミュレーションを開始しているため、近いうちに公表したい旨が述べられた。

3 次回開催日について

次回は、平成25年5月8日（水）に開催することになった。

配付資料

- 資料 1 山形大学バーチャル研究所認定一覧
- 資料 2 国立大学法人山形大学における会議費支出基準
- 資料 3 平成 25 年度山形大学入試実施状況調
- 資料 4 - 1 平成 24 年度学生表彰受賞者一覧
- 資料 4 - 2 平成 25 年度「山形大学YU Do Best奨学金」奨学生名簿
- 資料 5 山形大学新規採用教員メンター制度実施要領（案）
- 資料 6 山形大学学生不祥事防止検討プロジェクト・中間報告